

## 川崎市と株式会社タニタとの包括協定を締結します

川崎市は、近年においても人口の流入が続くとともに他都市と比較して若い世代が多い、活気にあふれた大都市として発展を続けていますが、一方で将来の少子高齢化は避けて通れない課題であり、さまざまな創意工夫を凝らして乗り越えていく必要があります。

このような状況の中で、「健康」に対する市民の関心は、かつてないほどに高まりを見せており、今後は、高齢者だけにとどまらず、子どもや、働き盛りの若い世代にも「健康」に対する関心をさらに高めていかなければなりません。

これらを踏まえ、株式会社タニタが持つノウハウや両者が持つ資源や強みなどを生かし、中学校給食を契機として、生涯にわたって市民が健康に暮らせる社会の実現に向けた取組を連携・協力して推進していきます。

包括協定の詳細は別紙の通りです。

### 1 取組事項等

- (1) 中学校給食の献立等に関する事
- (2) 中学校給食と連携した健康プログラムに関する事
- (3) その他、「健康」をテーマとして、甲乙の連携・協力による取組が必要と認められる事

### 2 添付資料

- 資料1 川崎市と株式会社タニタとの連携・協力に関する包括協定の締結について
- 資料2 全国初、定番メニューとして四半期ごとに提供  
タニタが川崎市の中学校給食メニューを監修  
2018年5月より市内52校でスタート
- 資料3 「学校給食」からはじまる市民の健康づくり
- 資料4 川崎市と株式会社タニタとの連携・協力に関する包括協定書

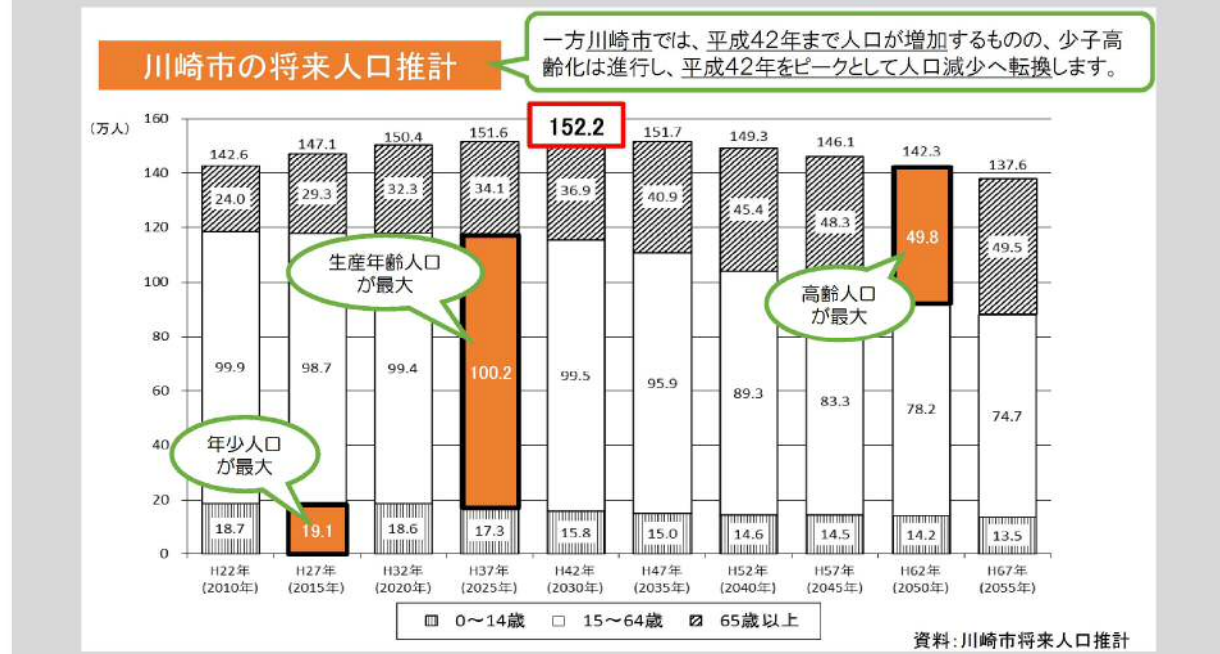
#### <問い合わせ先>

川崎市教育委員会事務局中学校給食推進室	田中	電話 044-200-2158
株式会社タニタ広報課	山本、横田、富増、大竹	電話 03-3558-8116

## 1. 背景・目的

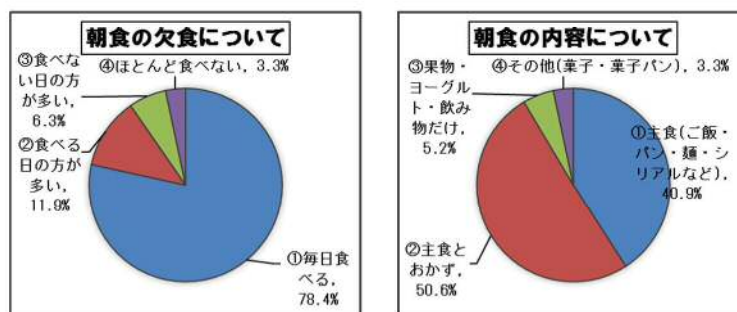
### ●本市の少子高齢化の状況

・他都市に比較して、若く活気のある本市においても、今後少子高齢化が急速に進行



### ●中学生の食生活の課題

- ・朝食の欠食
- ・朝食の内容に問題など



(「食生活に関する調査(H24):神奈川県教育委員会」から本市5校分を集計)

### ●成人の食生活の課題

- ・若者の野菜不足
- ・成人男性の肥満
- ・若い女性の過度のやせ志向

◆若者の野菜不足 (平均野菜摂取量)  
**242.4 g = 15~19歳** 350 g = 望ましい摂取量 (健康日本21)

◆肥満男性の増加と若い女性の過度の「やせ」志向  
**31.7%** = 20~60歳代男性肥満者の割合 (健康日本21)  
**21.9%** = 20歳代女性やせの者の割合 (健康日本21)

## 2. 連携・協力の基本的な事項

- (1) 中学校給食の献立等に関する事
- (2) 中学校給食と連携した健康プログラムに関する事
- (3) その他、「健康」をテーマとして、甲乙の連携・協力による取組が必要と認められる事

## 3. 連携・協力の主な取組

### (1) 中学校給食の献立等に関する事

タニタ食堂等で提供されている献立を、川崎市の中学校給食用にアレンジした「健康給食@川崎 プロデュース by TANITA」を四半期に一度、平成30年度から全ての中学校で提供します。(下記は想定献立です。今後、試作等により確実に時間内に調理できるように検討していきます。)

#### 【今後の取組予定】

- 平成29年夏……4献立の試作・検討
- 平成30年 5月…春献立の提供  
「タラのから揚げ 野菜あんかけ」  
「れんこんとにんじんのあえ物」など
- 平成30年 7月…夏献立の提供  
「かぼちゃと豚肉のオイスターソース炒め」「おくらとコーンの煮びたし」  
「トマトのみそ汁」など
- 平成30年10月…秋献立の提供  
「とり肉のはちみつマスタード焼き」「マカロニサラダ」「ベジタブルチャウダー」など
- 平成31年 1月…冬献立の提供  
「とり肉のきのこソースかけ」「ブロッコリーのクリーム煮」  
「キャベツと大豆のごまあえ」など

#### ※タニタ献立の特徴

- ①野菜たっぷり
- ②塩分控えめ
- ③咀嚼回数を増やすよう野菜を大きめにカット

### (2) 中学校給食と連携した健康プログラムに関する事

「健康給食@川崎 プロデュース by TANITA」と連動した食育を、市の栄養士や教職員等が主体となって中学校で進められるよう、教材の開発や、教職員の研修を実施するとともに、市内の中学生と保護者向けの健康プログラムの実施を検討していきます。

#### 【食育の取組予定】

- 平成29年度……教材等の検討
- 平成30年 5月……春献立の趣旨を説明するリーフレットを生徒に配布  
⇒以降、献立を提供する都度実施
- 平成30年 8月……(仮)タニタメソッド教職員研修  
⇒以降、学校における食育で活用

#### 【健康プログラムの取組予定】

- 平成29年度……内容等の検討
- 平成30年 4月…参加者募集 (市内在住の中学生とその保護者)
- 平成30年 7月～半年間程度  
…体組成の計測・セミナー・調理実習・活動量の継続的な計測など

(報道資料)

**全国初、定番メニューとして四半期ごとに提供  
タニタが川崎市の中学校給食メニューを監修  
2018年5月より市内52校でスタート**

2017年1月17日

株式会社タニタ

健康総合企業の株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）は、神奈川県川崎市立の中学校全52校の給食メニューを監修、「健康給食@川崎 プロデュース by TANITA」として、2018年5月より、四半期ごと（年4回）に提供することで、本日、川崎市と協定を締結しました。タニタが監修した給食が定番メニューとして提供されるのは、全国で初めてとなります。同時に、タニタ監修の給食提供日にあわせて各校で食育に関する特別授業を実施。川崎市とタニタが連携して教材を作成し、成長期における食事と運動のバランスやはかることの大切さを伝えます。

今回提供される学校給食は、成長期のからだづくりを支える栄養素を摂取するだけでなく、バランスの取れた食習慣を形成するなどの重要な役割を担っています。提供されるメニューは、学校給食の規定を踏まえつつ、野菜を豊富に使って栄養バランスを高めたり、咀嚼回数を増やすよう野菜を大きくカットする調理法で満足感を高めたりする「タニタ食堂」ならではのメソッドを給食向けにアレンジしました。

監修にあたっては、タニタの管理栄養士と川崎市の栄養士とが検討を重ね、タニタ食堂の特徴の一つである「食感」に着目したメニューづくりを進めました。野菜は切り方など調理の仕方で食感が変わります。学校給食の調理規定を踏まえつつ、通常よりも大きくカットした野菜をよく噛んで食べることで満足感を得られやすくなることを体感し、噛むことの重要性を学べるメニューとしました。なお、タニタ食堂のメニューは成人が健康管理をする上でバランスの良い食事となるよう、エネルギーが500kcal前後、塩分が3g以下のレシピとなっていますが、本給食メニューでは中学生の食事摂取基準に合わせてアレンジしています。

提供するメニューは季節ごとに異なる4メニューを用意し、食材には旬の野菜などを使用しています。具体的には、5月は「タラのから揚げ野菜あんかけ給食」（エネルギー789kcal、塩分2.2g）、7月は「かぼちゃと豚肉のオイスターソース炒め給食」（エネ

ルギー792kcal、塩分3.0g)、10月は「とり肉のはちみつマスタード焼き給食」(エネルギー891kcal、塩分2.3g)、1月は「とり肉のきのこソースかけ給食」(エネルギー799kcal、塩分2.9g)を提供する予定です。

タニタでは、今回の取り組みを機に、川崎市と共同で、市民の健康づくりに向けた様々な事業に取り組んでまいります。具体的には、通信機能を搭載した活動量計やプロフェッショナル仕様の体組成計を使って、からだの状態や活動量・歩数を「見える化」する健康増進パッケージ「タニタ健康プログラム」を提供するほか、健康セミナーなどを実施。まずは2018年4月より、市内在住の中学生とその保護者を対象に、体組成計や活動量計での計測と調理実習や健康セミナーなどを組み合わせたプログラムを提供する予定です。タニタではこれらの活動を通じて、川崎市とともに市民の健康増進・健康寿命の延伸に寄与していく方針です。



「とり肉のきのこソースかけ給食」(1月提供の冬献立)

〔「十穀米ごはん」「とり肉のきのこソースかけ」「ブロッコリーのクリーム煮」「キャベツと大豆のごまあえ」「ぽんかん」「牛乳」、エネルギー799kcal、塩分2.9g〕

※本資料は東商記者クラブにも配布しております。

※同様の資料（別添「ご参考」）は川崎市より川崎記者クラブに配布されております。

#### 報道機関からのお問い合わせ先

株式会社タニタ

〒174-8630

東京都板橋区前野町1-14-2

電話：03（3558）8116（直）

FAX：03（3968）2110

広報課：山本、横田、富増、大竹

報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

# 「学校給食」からはじまる市民の健康づくり

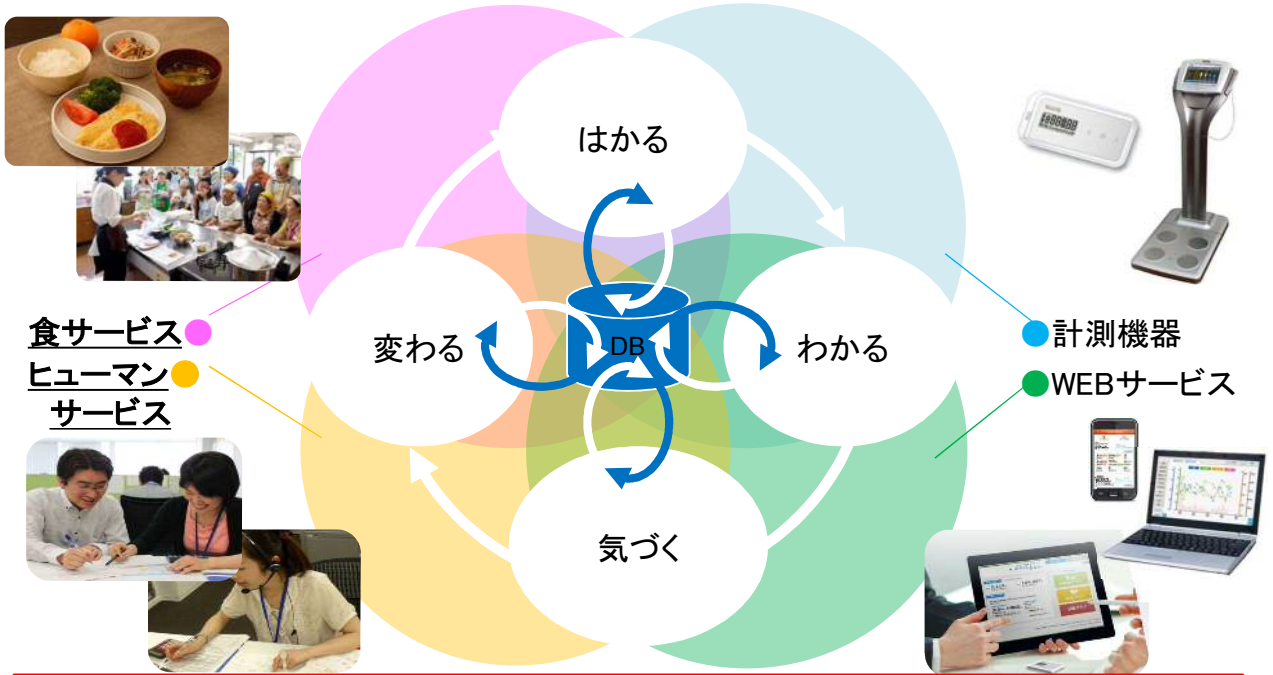
「最幸のまち かわさき」に向けたタニタのサポート

株式会社タニタヘルスリンク  
代表取締役社長  
丹羽 隆史

## タニタについて

- ・社名:株式会社タニタ
- ・本社:東京都板橋区前野町1-14-2
- ・創業:1923年3月
- ・設立:1944年1月
- ・代表者:谷田千里(代表取締役社長)
- ・資本金:5,100万円
- ・社員数:1,200人(グループ、2016年3月現在)
- ・事業内容:  
家庭用・業務用計測計量機器(体組成計、体脂肪計、  
体重計、クッキングスケール、歩数計、タイマー、電子塩分計、  
活動量計、血圧計、脈拍計、デジタルカロリースケール、  
電子尿糖計、温湿度計などの製造・販売)

「はかる」を起点にしたPDCAサイクルを構築



計測機器やWEBサービスだけでなく、専門職による食事や運動の実際のサービスもワンストップで提供することでPDCAサイクルを継続的に回します。

今回の協定でタニタがサポートさせていただく内容

**親子向けタニタ健康プログラム実施**  
 学校現場での食育に、体組成や活動量の測定、親世代向けのセミナー等も加え、中学生世代への計測・食育を全市民に広げていきます。

**4半期ごとの健康給食のプロデュース**  
 栄養バランスやカロリー・塩分など健康的な食事を、座学で学ぶだけでなく「実体験」することで食育をより深めていきます。

**「食育」の取り組みのサポート**  
 教職員の方への食育の研修や教材の開発を行うことにより給食の体験を体系的に学び健康的な食事の知識をより深めます。

中学生をキーに全市民に広げていく

## 「食育」の取り組みについて



**食育教材の開発**  
各校で活用できる体組成の仕組みや食事についての教材の開発をタニタがサポート。



**食育担当教職員の研修実施**  
各校の食育を担う担当教職員の研修を実施。実施する健康給食のポイントや作成する教材のポイントをお知らせし、健康づくりを各校に広めます。

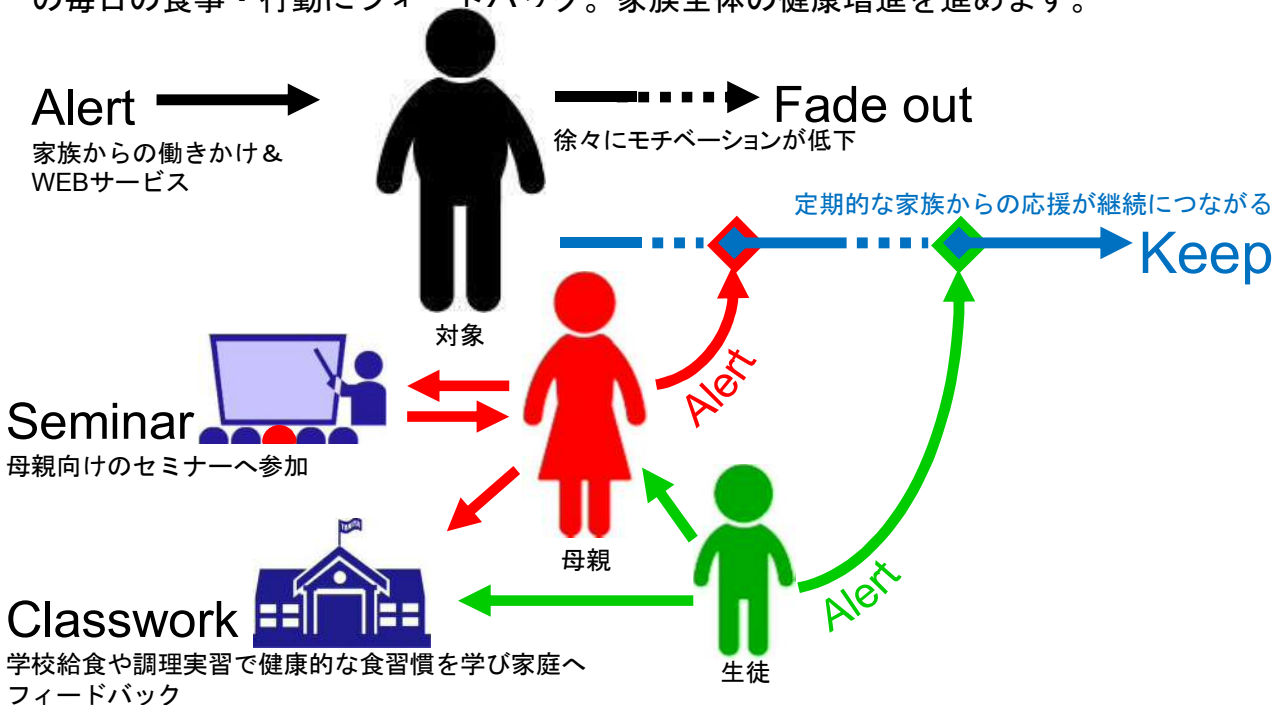


**健康給食当日はリーフレットを配布**  
当日の献立を家庭でも活かせるよう、献立のポイントや家庭でも作れるようなレシピを作成。生徒に配布します。

## 食育の取り組みを全校→ご家庭に

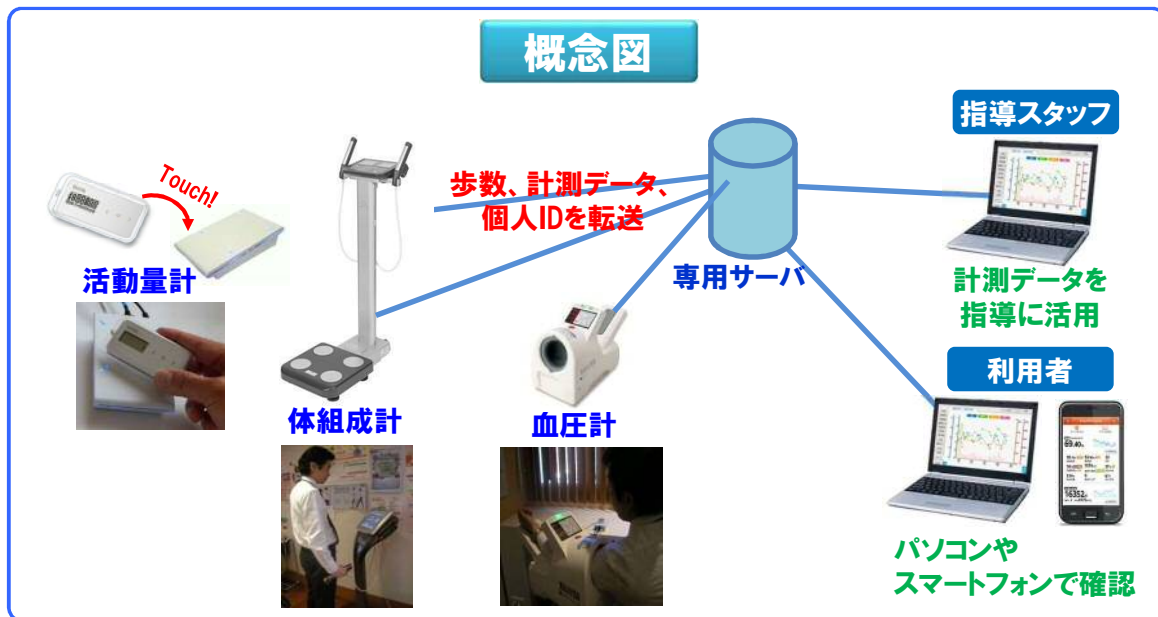
## 子供からつながるヘルスケアリレー

学校での給食をキーに、健康・食事への関心を家庭に持ち帰っていただき、家庭での毎日の食事・行動にフィードバック。家族全体の健康増進を進めます。





## タニタ健康プログラム



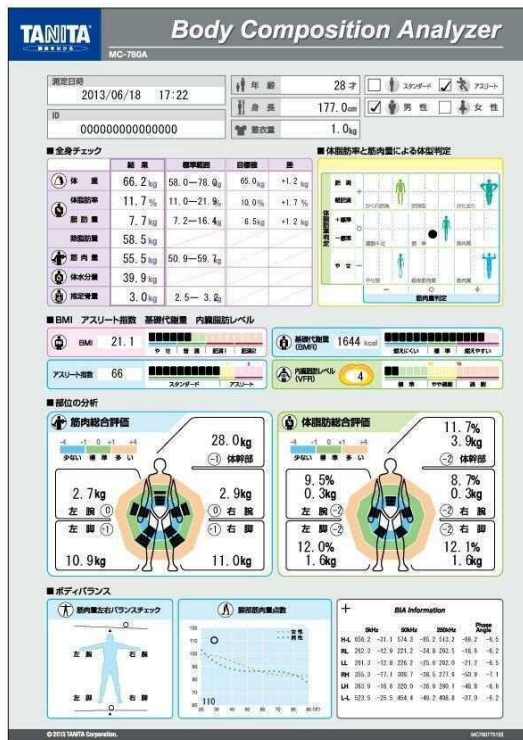
からだの状態を「見える化」することで行動変容を促進

## 計測スポット



市が開設する計測拠点に体組成計を設置  
市民が手軽に健康状態をチェックできる環境に

## 体組成計の計測項目



- 体重
- 体脂肪率
- 脂肪量
- 除脂肪量
- 筋肉量
- 体水分量
- 推定骨量
- BMI
- アスリート指数
- 基礎代謝量
- 基礎代謝判定
- 内臓脂肪レベル
- 筋肉量スコア
- 体形判定
- 筋肉量左右バランス
- 脚部筋肉点数

右腕・左腕・体幹部・右脚・左脚の5つの部位の脂肪率、筋肉量を計測・表示

## 川崎からだカルテ



計測スポットではなかったデータはWEBで管理・閲覧  
計測結果はパソコンやスマートフォンで簡単に時系列で閲覧可能。  
毎日のデータを確認できる。



ウォーキングイベントの開催  
参加者同士(WEB内)で歩数を競い合うウォーキングイベントを定期的に開催。コースは、国内外の名所・旧跡を設定。



コラム、タニタ食堂レシピなどを掲載  
健康づくりに役立つコラムやタニタ食堂のレシピ等、さまざまな健康情報を掲載。

参加者の健康データを一元管理できるポータルサイト

## 親子向けセミナーの実施



### 食事・運動をテーマとしたセミナーの開催

タニタ社員食堂に学ぶ食事セミナーやウォーキングセミナーなど、健康生活に役立つセミナーを開催。



### 親子向け調理実習

給食でも実施しているタニタメソッドを家庭の食事でも実践できるように調理実習を実施。



### 母親向けセミナーの実施

「健康」というキーワードでは興味を持ちにくい生徒の親にも興味を持てるような「美」をキーワードにしたセミナーの開催

**楽しく、親子で継続できる取り組みを提供します**

**世界中の人々の  
「健康づくり」のために**

**タニタはあなたの健康を一生涯見守ります**

ご清聴ありがとうございました

## 川崎市と株式会社タニタとの連携・協力に関する包括協定書

川崎市（以下「甲」という。）と株式会社タニタ（以下「乙」という。）は、中学校給食をはじめとする食育、健康増進等に関して、次のとおり協定（以下、「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、少子高齢化が急速に進展する中で、「健康」の重要性が飛躍的に高まっている状況を踏まえ、甲及び乙が相互に情報交換や意見交換に努め、中学校給食をはじめとする食育等について緊密に連携・協力し、広く市民の健康増進に資することを目的とする。

（取組事項等）

第2条 甲及び乙は、本協定の目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行い、連携・協力するものとする。

- （1）中学校給食の献立等に関すること。
- （2）中学校給食と連携した健康プログラムに関すること。
- （3）その他、「健康」をテーマとして、甲乙の連携・協力による取組が必要と認められること。

（覚書等の締結）

第3条 甲及び乙は、前条各号に掲げる事項について情報や意見の交換ができる場を適宜設けるとともに、連携・協力して推進することについて合意した取組については具体的な内容、実施方法、役割分担等について協議の上、必要に応じて、覚書等を締結するものとする。

（協定期間）

第4条 本協定の有効期間は、締結日から平成31年3月末日までとする。なお、当該期間満了後における更新等については、別途、甲乙協議の上、定めるものとする。

（協議事項）

第5条 本協定に定めのない事項又は本協定の各事項に関し、疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議の上、解決するものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

平成29年1月17日

甲 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地  
川崎市  
川崎市長 福田 紀彦

乙 東京都板橋区前野町1丁目14番2号  
株式会社タニタ  
代表取締役社長 谷田 千里